



## まっすぐ前を見て生きる コロナに負けない強い意志と行動力で

6月19日、これまで新型コロナウイルス感染拡大防止のために求められてきた「自粛」が、全国規模で解除となりました。県をまたぐ移動の制限をなくし、社会経済活動を復活させる目的からです。しかし、ウイルスが消え去ったわけではありません。私たちは、今後も目に見えないウイルスの存在を決して忘れることなく、自分の命や周りにいる人の命を守る行動をとり続けなければなりません。

6月1日、3年生は学年集会の中で校長先生からお話を聞きました。その内容は「地区総体および各文化部のコンクール等の中止」というあまりにも悲しい知らせでした。その概要は次の通りです。

「『3密を避けて安全に大会を開催することは困難であり、また、長い自宅待機で体力が低下している状態で大会に臨むことは、ケガや熱中症などのリスクにつながる』という理由により香川県教育委員会が大会の自粛を決定しました。3年生にとっては最後の夏であり、最後の総体や競技大会に向けて頑張ってきた皆さんにとって、どれほど悔しいことか知れません。ただ、一つ忘れないでいてほしいのは、これまでの努力は決して無駄ではないし、その努力が皆さんを成長させてきたことは、紛れもない事実です。今後の人生において必ず役に立つということです。この後、1・2年生は今話した内容を担任の先生から知らされます。後輩たちもきっと動揺することでしょう。どうか、彼らをリードして、今日から再開される部活動を立派に盛り上げてください。皆さんならできると信じています。力を出し合って、この試練を乗り越えましょう。」

このお話の後で、3年生は教室へ帰り、担任の先生から次のような言葉をかけられました。「今日は、家に帰ってからじっくりと『心の声』に耳を傾けてください。明日の朝、一人一人に『今の気持ちや思い、そして、これからの自分』について書いてもらいます。」

翌日の6月2日、3年生の皆さんが書き記したそれぞれの思いを紹介します。

- 今年の目標は総体の団体戦で県大会に出場することだったのに、まずそれができなかったのが一番悲しいです。でも、今までの部活動のがんばりは自分のためになったと思います。また、もしかしたら試合をできる機会があるかもしれないので、最後の最後まで部活は一生懸命に練習します。そして、今回のことは必ず自分の将来に役に立つと思うので、これからも今回のことを忘れないようにします。
- 総体は、1年生の時からの目標だったので、開催しないというのはとても悔しいです。剣道部は面すらつけれないので、試合もできないまま終わるのは悲しいです。けれど、私たちが参加できなかった悔しい気持ちで終わるのではなく、次の代の子たちが総体に出場できるよう、これからも部活をがんばっていきたいと思います。
- 中途半端に終わりがたくなかったです。なぜなら3年間の成果をここで発揮したかったからです。そして、これからの自分は2年生がまとめられるようしっかりと練習を教えたいです。まだ心にいっぱい残っていることを残り少ない部活で出していきたいです。
- 総体がなくなったのはほんとにショックです。だからといって練習を手を抜いてすることはだめだと思うから、今からしっかりと体を慣れさせて、今まで通り、しっかりと毎日休まず練習していきたいです。最後はやっぱり笑顔で終わりたいです。
- 正直、吹奏楽コンクールは県大会からなので、少し早く大きな目標が消えてしまったけれど、まだ実感がありません。でも時間はどんどん過ぎていって引退しなければならない日が近づいています。今、私たち3年生に考えられるのは、後輩へ、今年のコンクールの分の思いを理解してもらい、来年に向けて頑張る姿を見守ること、また、自分たちは、後悔がなくなるような演奏をやり切ることが一番なのかなと思いました。今回は誰が悪いわけでもなく、どこにもぶつけようのない怒りと悔しさがありますが、それを、明日への希望と目標に変え、笑顔で引退できるように頑張りたいと思います。

- 総体で最高の終わり方をするために頑張っていたし、試合の時にしか会えない他校の友達にも会いたかったです。休業期間が長かったから引退までもともと短かったのに、もっと短くなってもう少ししか後輩たちと部活できないのが悲しいです。
- 休みの間で、もうなくなるとちょっと分かっていたから、なくなったのを聞いてちょっと悲しかった。いざ部活を始めると、なくなったことがめっちゃ悲しくなりました。プロの人たちが言うようなきれいな事ばかりですが、大会がなくても、これまでこのメンバーでサッカーをしてきたことを大切に、結果なんて今はどうでもいいと思っています。
- コロナの影響で夏にある写生大会が中止になり、我ら美術部にとっての夏のメインとなるイベントがなくなり、とても残念でしたが、そのまま肩を落とさず、この絵の才能を生かしていきたいです。
- 総体のことは、臨時休業中に家族で話をしてなくなるんじゃないかなと気づいていたけど、改めて「ないです」と知らされたとき、すごく悲しい気持ちになりました。今の状況だと難しいので、仕方ないと思います。先生方も言っていたように、大切に将来役に立つのは「結果」ではなく「過程」なので、前向きにとらえたいと思いました。私は3年間部活をやっている、こんなに努力が大切だと思えたのも、負けた時、悔しい、頑張ろうと思えたのも初めてだったので、いい経験ができたな、部活やっていてよかったなと思います。残り少ない練習時間は、自分のできる限りのことをして、最後は、悔いのないように終わりたいです。私は高校生になっても、また部活に入って努力したいと思います。
- 正直、コンクールが中止になった時は、本当に悔しくて、今まで何のためにがんばってきたのだろうという思いや、先輩方や先生の願いを叶えることができなかったという思いでいっぱいでした。やり場のない思いをどこにぶつけたらいいかわからず、ただただ悔しいばかりでした。でも、先生方や家族など、いろんな人からの話を聞いて、少し気持ちが落ち着きました。いつまでも悔いていても状況は変えることはできないので、これから先のことを考えるようにしようと思いました。コロナという見えない敵のせいで、みんなの思い出や自分たちの希望、目標がどんどん失われてしまったけれど、それでもまだ自分たちができることはいろいろあると思います。今、こうして学校に行けることも当たり前ではないのだと感じました。今、自分が元気で健康に生きていられることに感謝したいです。これからは、一分一秒を無駄にせず、自分にできることを精一杯して、後で後悔しない生き方をしたいです。部活に関しても、先生方は私たちのために色々考えてくださっているので、その期待に応えられるように一生懸命頑張ります。
- 大きな試合が中止になったのは、全国の中高生が同じなので少しは悔しかったり悲しかったりするけれど、あまりその気持ちは大きくありません。でも前の総体のとき、けがでベストが出ず、中学校で競技をやめようと思っているので、心残りはあります。でもそれよりも、本当にいい仲間、友達と出会えたので、部活での思い出は一生の思い出になりました。陸上部に入っていなかったら、こんないい友達ができなかったと思うので「この約2年ムダだった・・・」とは全然思いません。
- ぼくは総体で目標があったけど、なくなってしまいました。ですが、新しい目標をつくることができました。それは、残りの部活でメンタルをきたえて弱い自分に勝ち強くなることです。落ち込まずに、残りの部活を楽しみ、心身を鍛えていきます。
- 技能大会にすごく出たかったです。今まで家庭科が大会に出たことがなくてあこがれていて、「やっと3年になった。みんなで力を合わせて」と思っていたのですが、仲間割れもあり、けんかもし・・・でもこんなこと言ってもらえない。すごくかなしい気持ちもあるけど、今、一年生を迎え入れて「私たちの最後の夏」を楽しく過ごしたいです。
- 残念だなんて気持ちはあるけど、それより2年間一緒に部活をしたり、試合に出たときは応援したりしてもらったりといった大切な時間を一緒に作れたことは良かったと思います。正直、中1の総体、新人から優勝していたので、5連覇したかったけど、それは叶わないので、高校生になったときの総体で良い結果が残せるように、これからはもっと練習に対する思いを強くして頑張りたいです。
- 今、このような状態なので「中止」という決断になるとは予想していたけど、いざこういう決断になると少し悲しい気持ちになります。去年まで普通に出場して、勝った、負けたなどと言っていたことが、当たり前じゃないと言うことに改めて気づかされました。それをポジティブにとらえて、将来「あのときは良い経験をしたな」と思えるような部活に、今からでもしていきたいと思います。
- 吹奏楽コンクールが無くなったと聞き、怒りや悲しみの前に、ただただ「え・・・？」と放心状態になりました。もしかしたらなくなるかもしれないと思っていましたが、いざそうなるという言葉が全く出ませんでした。今でもまだ、受け止めきれっていません。ですが、決まってしまう以上、それはきっと変わりません。なので、これからも今まで以上に頑張り、後輩にあこがれてもらえるような音を出し、引退する時に後悔なく、自分をほめてあげられるようにしていきたいです。去年の涙を絶対にムダにはしたくないです。

- 総体がなくなったのは悲しいし嫌だけど、悲しいなあとか嫌だなあと思いながら学校生活をするのは違うと思いました。もう決まったことは変わらないのでそれを受け入れて今できることをしようと思います。例えば練習試合を組んでくれるならそこで本気を出し、総体のことを考えるのではなく勉強を頑張ります。あと1年もない学校生活をおもいきり楽しもうと思いました。
- 今の気持ちは、とても悲しいです。2年の新人戦で、ぎりぎり県大に行けずやしかったので、今度こそと思っていました。けど、なくなりとても悔しいです。これからは、この出来事は絶対忘れないと思います。今は、試合ができる日までのために今までの感覚を取り戻してもっと上達できるようにしていきたいです。
- とても悔しいです。指が治ったから必ずみんなと練習して総体に行くと思っていたのでつらいです。総体はできなくなったけど、部活はできるからみんなともしっかり練習したいです。これからは練習だけでなく、1、2年にアドバイスできることはどんどんやっていきたいです。みんなも悔しいと思うし、自分も悔しいけど、もう終わりにするのではなく、残りの時間ももっと全力で練習したいです。
- 今回のことは本当に残念です。キャプテンになった時から、総体で活躍して、2年生、1年生に引き継いでほしいと思っていたので、悔しいしかありません。引退したら、2年生、1年生に頑張ってほしいです。
- 正直言って最初部活に行ったとき僕はあまりやる気はなかった。しかし約2年間やっていると楽しくなっていて、いつの間にか好きになっていた。夏の大会に向けて今まで積み重ねてきたものが意味がなかったとは思わない。今さらあーだこーだの言っても意味はない。僕はこれからも部活をするのは、今いる2年、これから入ってくるであろう1年の手本になっていけるよう練習していきたい。
- 校長先生から話を聞いたときびっくりしました。地区大会はあるだろうと思っていたのでショックでした。試合で勝ち負けをつけることも大切ですが、それ以上に先輩や後輩、同級生との接し方など、これからのずっと必要となることを部活で学べました。大会がなくなったことは仕方ないことなので、気持ちを変えて、あと少しの練習を大切にしたいと思います。
- ぼくらが部活をするのは人間性、社会で生きる力などをつけるものだと先生からよく聞きます。もう大会をしないからいいじゃないか、もう頑張っても意味ないじゃないか。こう思っている人は少なからずいると思います。でもぼくはこういうときだからこそ自分の力になるものがあると思います。なので最後まで頑張ります。



### 保護者の皆様へ

全校生徒一人一人が、今、新たな決意を胸にひたむきに部活動に取り組んでいます。慣れない7時間授業で心身ともに疲れ果てているなかで、仲間と励まし合い、交流試合等、中止になった行事の代わりの取組に向け、新たな目標を持って頑張っています。どうか、保護者の皆さんからのご支援をよろしくお願いいたします。